



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者: 杉田 厚
編集: 北村 理・古屋 仁・吉越 貴幸・今井 泰雄
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

スノードルフィン 1月スキー行

横須賀スノードルフィンSC 古屋 仁

我が、横須賀スノードルフィンSCは年末年始の戸狩温泉スキー場の岸田屋でのお正月スキー行で、今シーズンの活動を開始しました。

お正月スキー行には、例年とおり私は参加していないため、記事はありません。

私の今年の初スキーは、本スキー行になりました。

神奈川スキー祭典年始コースと同じ日程で1月のスキー行を行いました。

※年始コースに参加された指導員・実行委員のみなさん、申し訳ありません。

1月10日(金)の23時過ぎ、いつもとおり町田の某あきら邸に集合の後、総勢5名、北村カー1台で、戸狩温泉スキー場の岸田屋に向かいました。

実は、1月2日に岸田屋から帰ってきたばかりですが、ドルフィンは「岸田屋好き」です。

初日：1月11日(土)

早朝、岸田屋に着いたらすぐに布団に！

ゆっくり朝食をとってからゲレンデに。

ゲレンデでも、ゆっくり・ゆったりスキーを楽しみ、15:00過ぎには宿に上がる、贅沢なスキーでした。

スキー協のウェアを着ている参加者は、昨年12月の初旬に職場の車で事故を起し、その車は廃車に！

本人も胸骨を骨折しているにもかかわらず、「家族の心配」や「参加を慎め」という言葉も気にもせずに参加。

しかし、当初は転ばないように注意をして滑っていたようですが、午後にはいつもの滑りになっていました。

本当に“困った年寄り”です。



カメラマンは某あきら氏

2日目：1月12日(日)

この日も、ゆっくり朝食をとってからゲレンデに。

1時間強滑ってちょっと休憩。また1時間程度滑って昼食。さらに1時間程度滑って「そり食堂」

に！

究極のゆっくり・まったりスキーです。

そり食堂では、もつ煮と北光正宗。穏やかな時間が流れました。

じつは、スキー協のウェアを着ている参加者は「そり食堂」はとっても久しぶり。「梅さんが居た頃から行っていないかな？」と言っていました。

3日目：1月13日(月祝)

05:00 頃におトイレに行った時は道路が乾いていて「今日は曇り、雪は激しく降らないかな？」と思っていたら、朝食の時に食堂から外を見ると大粒の雪がこれでもかというくらいに降っていました。

部屋に戻り、外を見ると戸狩食堂の屋根も見えず、うっすらとナイター照明が点灯しているのが見える程度の視界。

出鼻をくじかれ、もうスキーに行くことはあきらめ、また布団の上でまったり。

11:00 前に岸田屋を出発し、道の駅花の駅「千曲川」に。りんごを箱で買う者がいたり、みんなで買い物に勤しみました。

その後、ハイウェイオアシス小布施に。竹風堂の栗ようかんや栗かの子をたっぷり買い込み、町田の某あきら邸に向かいました。

途中、高坂 SA 付近でちょっとした渋滞につかまりましたが、町田には 17:00 頃に着き、まったりとしたスキー行を終えました。

2月のスキー行は、2月15日～16日の日程で妙高池の平温泉アルペンブリックスキー場に行きます。



～．～



海老名を 7 時 45 分にバスは出発。

バスの中で開会式、自己紹介、昼食を済ませ、12 時過ぎに梅池の「サンライズタンネ」に到着し先に来ていた人達と合流。

1 時過ぎにはスキー場に向かい、7 班の教室に分れ準備体操の後、足慣らしに「鐘の鳴る丘グレンデ」をすべりました。

快晴のゲレンデは雪もたっぷり、日曜日とあってボーダーや外国人も多く混んでいました。

2日目も朝から快晴、集合写真の後、圧雪されたばかりのゲレンデでスキー教室が開始され、ゴンドラとリフトに乗り継ぎ白馬岳をバックに班別写真を撮りました。

絶景で暖かく春スキーをやっている気分、4時近くまで滑り、夕食の後、班別ミーティング、交流会もあり10時にお開きになりました。

3日目は半日でした。

グループ滑走、ゲレンデで昼食を済ませ、1時には宿に帰りました。

予定より出発を早めて2時20分にバスは出発。

車内で閉会式を行い、「初めて梅池に来た」「全ゲレンデを滑った」「技術的にグレードアップした」



「言葉に言い表せないくらい楽しかった」など。

牧田さんはあと2年は大丈夫「スキーは90才から」と名言があり元気と勇気をもらいました。

海老名に午後 7 時に到着。

3日間快晴に恵まれ怪我、事故がなく大いに満喫した拇池スキーまつりでした。

(高柳一也)



~~~~~

タングラム斑尾ツアー  
～ 今年もね ～

D S S C 田中 健

第13回目？としておこう、タングラムツアー開催。

今年は斑尾も加えての、タングラム斑尾ツアー！総勢10名

1月24日から26日までの2泊3日でホテルタングラムにお世話になりました。

金曜日の早朝出発でホテルには午前 9 時 30 分到着と、丁度寒波の合間とあって道路もドライ(私はドライ派 ビールの話ね!)でスイスイ。滑りもスイスイと行きたいものだが・・・

今回ホテルが変わったこと、まずひとつ。更衣室が男女入れ替わっていた～！



何故？それを知らずいつもの通り入ってしまったB氏、驚いた様に飛び出してきた「女子がいて睨まれた～」とそこで初めて気づく！！事件にならなかったのは幸い。

そしてもう一つ、レストランお昼の支払いが食券購入方式に変更されていた。

昼食を食べて午後からゲレンデへ。

ここは目の前がゲレンデで移動無しがありがたい。

3時間程滑って、温泉入って、さあ大宴会の始まりだ。

地下1Fの蕎麦屋さん、ここも毎年お世話になります。一人一人今シーズンの目標を示し、酒のつまみとしました。

2日目は、いつもは行かない斑尾へ。

隣合わせのゲレンデなのだが、白馬五竜と47の様に同じ料金でどちらも利用出来るのとは違い、基本エリア券があり、行き来する場合は共通券が必要。

宿泊者にとってはエリア券は格安なため、これまでは斑尾に行こうとはしなかったのだが、「たまには行ってみるか」とこの土曜日のみ遠征したのである。



う～ん広い！ゲレンデ全体像を把握していないと、何処を滑っているのか分からなくなる。夜な夜な地図の読み込み会議をしていて正解。

斑尾の印象は、利用者がタングラムより多いこと、機材が古いためか輸送力が乏しく混雑しやすいのと、ベースが2カ所あるため行き来しづらいことだろうか。

でもタングラムには無いダイナミックなゲレンデを満喫したのは言うでも無い。

ゲレンデに県境があったり、今やあまり見かけないシ

ングルリフトもあつたりと話題も事欠かない。夕食はホテルのビュッフェ。

皆さんトレーには沢山の料理を盛って、今日もカンパイ！！

部屋に戻っては当たり前の2次会。タムチョーの人間関係で手に入れた、伊勢原吉川醸造のほぼ市販されていない吟醸酒「雨降 HARUMI 33」で乾杯し、S宴会部長の余興も飛び出た。

今回のツアーでは、お試し参加のAさんがクラブ加入を決断して新たな仲





## 当 面 の 行 事

| ク ラ ブ    | 行事名称           | 日 程        | 会場(スキー場)           |
|----------|----------------|------------|--------------------|
| 悠遊ＳＣ     | スキーまつり（尾瀬岩鞍）   | 2月2日～4日    | ホワイトワールド尾瀬岩鞍       |
| 県スキー協    | 奥信濃アルペン 2025   | 2月8日～9日    | 戸狩温泉スキー場           |
| スノードルフィン | 池の平スキー         | 2月14日夜～16日 | 池の平温泉アルペンブリックススキー場 |
| D S S C  | スキーフェスティバル     | 2月15日～16日  | 丸沼高原スキー場           |
| モルゲンロート  | モルゲンスキー        | 2月15日～16日  | 戸狩温泉スキー場           |
| スノーブリーズ  | クラブスキー         | 2月15日～16日  | 戸狩温泉スキー場           |
| 関東ブロック   | 指導員検定会         | 2月15日～16日  | かたしな高原スキー場         |
| 悠遊ＳＣ     | 平日交流スキー        | 2月18日～20日  | 舞子スノーリゾート          |
| 全国スキー協   | 第51回全国競技大会     | 2月21日～23日  | 湯の丸スキー場            |
| 県スキー協    | 初級指導員検定会       | 3月1日～2日    | 戸狩温泉スキー場           |
| 悠遊ＳＣ     | スキーまつり（30周年記念） | 3月2日～4日    | 星野リゾートネコママウンテン     |
| スノードルフィン | 妙高池の平スキー       | 3月7日夜～9日   | 池の平温泉アルペンブリックススキー場 |
| D S S C  | クラブ平日スキー       | 3月9日～11日   | 軽井沢プリンススキー場        |
| モルゲンロート  | モルゲンスキー        | 3月15日～16日  | 妙高高原スキー場           |
| スノーブリーズ  | クラブスキー         | 3月15日～17日  | 蔵王温泉スキー場           |
| 全国スキー協   | 第24回デモ選        | 3月15日～16日  | 志賀高原スキー場           |
| 県スキー協    | 第50回春スキー祭典     | 3月28日～30日  | 志賀高原 一ノ瀬スキー場他      |
| 県スキー協    | 第17回神奈川スキー協CUP | 4月5日～6日    | 鹿沢スノーエリア           |
| モルゲンロート  | モルゲン春スキー       | 4月12日～13日  | かぐらスキー場            |
| 全国スキー協   | 全国技術部会         | 4月12日～13日  | 志賀高原スキー場           |
| スノーブリーズ  | クラブスキー         | 4月19日～20日  | かぐらスキー場            |
| スノーブリーズ  | ぽかぽかキャンプ       | 5月3日～5日    | 野沢温泉スキー場           |
| D S S C  | クラブ春スキー        | 5月連休（未定）   | 横手山スキー場            |

※各スキー行事に変更が生じた場合は、変更箇所をスキー協([mail@kanagawaski.org](mailto:mail@kanagawaski.org))へメールにて報告をお願いします。

### ◆編集後記◆

今シーズンは、シーズン前の予報とおり、ラニーニャ現象の影響により、平年以上の大雪になっています。

雪国での生活では、生活への影響だけではなく、生命を危険に及ぶこともあるでしょう。

無事、冬を乗り切ることを祈念したいと思います。

とはいえ、スキーヤー、ボーダーにとつては、数年ぶりの雪に恵まれたシーズンになっているかと思います。

また、来シーズンもこのように雪に恵まれ、思う存分滑れるシーズンになるとは限りませんので、ケガ等には気を付けて、残りのシーズンを楽しみましょう。

(い)